

第 64 年度（平成 29 年度）事業報告

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

第 64 年度（平成 29 年度）事業報告

（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施した。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

平成 29 年度の研究助成金として、研究助成（全国対象 20 件 1,000 万円）、および特別研究助成（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象 4 件 1,000 万円）、計 24 件 2,000 万円を交付した。

1) 研究助成（50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：5 件、 新規：5 件

計 20 件 計 1,000 万円

2) 特別研究助成

（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象、250 万円/件・年）：

2 年目：2 件、 新規：2 件

計 4 件 計 1,000 万円

総計 24 件 計 2,000 万円を交付した

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

2. 平成 30 年度助成事業対象者の募集および審査・選考

1) 平成 30 年度特別研究助成

（1）募集テーマ等の決定

平成 29 年 5 月 25 日の選考委員企画会議にて、平成 30 年度特別研究助成の募集テーマの選考および募集要項等の審議を行い、募集テーマを「病態に基づく独創的アプローチによる治療標的の探索」に決定した。また、募集方法については、募集要項を大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下の大学等研究機関へ郵送および篷庵社ホームページへの掲載により公示すること、また、募集期間を平成 29 年 9 月 1 日から 10 月 31 日とすることを決定した。これらについて平成 29 年 5 月 30 日に選考委員長から理事長へ答申し、同年 6 月 16 日開催の理事会にて承認可決した。

（2）募集および審査選考

平成 29 年 9 月 1 日から 10 月 31 日までの募集期間に 30 件の応募があった。これらについて同年 11

月 8 日に選考委員長から各委員に第一次審査として書面審査を依頼し、平成 30 年 2 月 1 日開催の選考委員会にて書面審査の結果を基に審議し、平成 30 年度被助成者の選考等を行い、2 名を被助成者候補として決定した。結果について、平成 30 年 2 月 6 日に選考委員長から理事長へ答申し、平成 30 年 3 月 13 日開催の理事会にて承認可決した。

2) 平成 30 年度研究助成

(1) 募集および第一次審査

平成 29 年 4 月 1 日理事長より 14 名の選出委員に平成 30 年度研究助成の候補者の推薦を依頼し 12 名の候補者が選出された。平成 29 年 5 月 25 日の選考委員企画会議にてこれらの候補者の第一次申請書の審査を研究業績および当財団の目的に適う人物であるか等の観点から審議を行い、5 名を第二次審査の候補者として選定した。

以上の結果について、平成 29 年 5 月 30 日に選考委員長から理事長へ答申し、同年 6 月 16 日開催の理事会にて承認可決した。これら 5 名について同年 8 月 9 日に理事長より各選出委員に第二次申請書の作成を依頼した。

(2) 第二次審査及び選考

第二次申請書の 5 名について平成 30 年 2 月 1 日開催の選考委員会にて審議し、この 5 名を平成 30 年度研究助成の被助成者候補とすることを決定した。以上の結果について、平成 30 年 2 月 6 日に選考委員長から理事長へ答申しした。

平成 30 年 3 月 13 日開催の理事会にて評議員も加わり、各候補者及びその研究計画について選出委員から詳細に説明し質疑応答を行ったのち、理事会にて慎重に審議してこれら 5 名について平成 30 年度研究助成対象者として承認可決した。

3. 研究成果報告【別紙 2】

第 36 回研究助成発表会を平成 29 年 7 月 28 日、塩野義製薬株式会社医薬研究センター（大阪府豊中市二葉町 3 丁目 1 番 1 号）において開催した。

III. 財団運営の概況

1. 理事会の決議事項

(1) 書面開催：平成 29 年 5 月 14 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：定時評議員会招集の件

原案通り承認可決した。

議題 2：第 63 年度（平成 28 年度）事業報告の件

第 63 年度(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)事業報告書について原案通り承認可決した。

議題 3 : 第 63 年度 (平成 28 年度) 決算の件

第 63 年度(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)決算について原案通り承認可決した。

議題 4 : 理事推薦の件

原案通り承認可決した。

議題 5 : 定款変更の件

原案通り承認可決した。

議題 6 : 「研究助成候補者選出に関する規程」改定の件

原案通り承認可決した。

(2)平成 29 年 6 月 16 日

議題 1 : 理事長 (代表理事) 選定の件

原案通り承認可決した。

議題 2 : 第 63 年度 (平成 28 年度) 定期提出書類の件

原案通り承認可決した。

議題 3 : 平成 30 年度特別研究助成募集テーマ決定の件

原案通り、平成 30 年度特別研究助成の募集テーマを「病態に基づく独創的アプローチによる治療標的の探索」とすること等、承認可決した。

議題 4 : 平成 30 年度研究助成第一次審査の件

平成 29 年 5 月 25 日開催の選考委員企画会議の決議通り、研究助成 5 名を原案通り承認可決した。

議題 5 : 名誉理事選任の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1 : 理事長は平成 29 年度 1 度目の業務執行状況報告を行なった。

報告事項 2 : マイナンバー関連業務委託先の変更の件

(3)書面開催 : 平成 29 年 12 月 14 日 (理事会決議があったものとみなされた日)

議題 1 : 評議員会招集の件

原案通り承認可決した。

(4)平成 30 年 3 月 13 日 (ヒルトン大阪 (大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号) において開催)

議題 1 : 第 65 年度 (平成 30 年度) 事業計画の件

第 65 年度 (平成 30 年度) 事業計画として研究助成金の交付件数を 24 件とすること及び平成 30 年 7 月 25 日に第 37 回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題 2 : 第 65 年度 (平成 30 年度) 収支予算に関する件

第 65 年度 (平成 30 年度) 収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

議題 3 : 平成 30 年度研究助成金受領者決定の件

平成 30 年 2 月 1 日開催の選考委員会の決議通り、平成 30 年度新規助成者について特別研究助成 2 名を原案通り承認可決した。また、研究助成 5 名についても慎重審議の上、原案通り承認可決した。

議題 4：選考委員改選の件

原案通り承認可決した。

議題 5：規程改定等の件

「企画会議規程」の新設及び、「選考委員会規程」、「費用の弁償及び報酬に関する規則」の改定を原案通り承認可決した。

報告事項：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

報告事項：理事長は平成 29 年度 2 度目の業務執行状況報告を行なった。

2. 評議員会の決議事項

(1)平成 29 年 6 月 16 日定時評議員会（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：議長選任の件

互選により選任した。

議題 2：議事録署名人選任の件

互選により 2 名を選任した。

議題 3：第 63 年度（平成 28 年度）事業報告の件

第 63 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）事業報告書について、原案通り承認可決した。

議題 4：第 63 年度（平成 28 年度）決算の件

第 63 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録について原案通り承認可決した。

議題 5：理事選任の件

原案通り承認可決した。

議題 6：定款変更の件

原案通り承認可決した。

報告事項：「研究助成候補者選出に関する規程」改定の件

(2)平成 30 年 3 月 13 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：議長選任の件

互選により選任した。

議題 2：議事録署名人選任の件

互選により 2 名を選任した。

議題 3：第 65 年度（平成 30 年度）事業計画の件

第 65 年度（平成 30 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 24 件とすること及び平成 30 年

7月25日に第37回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題4：第65年度（平成30年度）収支予算に関する件

第65年度（平成30年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

議題5：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

原案通り承認可決した。

報告事項1：平成30年度研究助成金受領者決定の件

報告事項2：選考委員改選の件

報告事項3：規程改定等の件

報告事項4：理事長の執務執行報告

3. 報告事項

(1) 平成29年4月19日

大阪府中央府税事務所長宛に平成28年4月1日から平成29年3月31日までの「法人府民税の減免申請書」を提出した。

(2) 平成29年4月19日

大阪市長宛に平成28年4月1日から平成29年3月31日までの「法人市民税減免申請書」を提出した。

(3) 平成29年5月30日

大阪府中央府税事務所長から平成29年5月29日付「法人府民税の減免通知書」を受領した。

(4) 平成29年6月5日

大阪市長より平成29年5月31日付「法人市民税減免通知書」を受領した。

(5) 平成29年6月27日

行政庁（内閣府）へ第63年度（平成28年度）事業報告書および監査報告書を提出した。

(6) 平成29年6月27日

法務局への理事及び定款の変更登記を完了した。

(7) 平成29年7月6日

行政庁（内閣府）へ理事及び定款の変更届出を提出した。

(8) 平成30年3月29日

行政庁（内閣府）へ平成30年度事業計画書および収支予算書等の定期提出書類を提出した。

(9) 平成30年3月29日

行政庁（内閣府）へ「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の変更届出を提出した。

以上

平成 29 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×20 件= 計 1,000 万円)

| 助成 | 所 属 (申請時) | 研 究 者 | 研究テーマ |
|------|------------------------------|--------|--|
| 4 年目 | 京都大学大学院薬学研究科 | 竹本 佳司 | 抗多剤耐性結核菌活性を有する caprazamycin 類の合成研究 |
| 4 年目 | 山形大学地域教育文化学部 食環境デザインコース | 鈴木 拓史 | 希少糖 (レアシュガー) の消化管吸収機構と小腸機能回復に与える影響 |
| 4 年目 | 金沢大学医薬保健研究域 (薬学系) | 加藤 将夫 | 有機カオチン膜輸送体の臓器疾患と薬物治療に及ぼす役割 |
| 4 年目 | 東京大学大学院医学系研究科 | 浦野 泰照 | 蛍光プローブの論理的精密設計に基づく、細胞生命現象・in vivo 微小がんイメージングの実現 |
| 4 年目 | 大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態薬理学分野 | 富田 修平 | 肺高血圧症に伴う血管リモデリングに寄与する低酸素応答性エフェクター分子の解析 |
| 3 年目 | 富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学) | 矢倉 隆之 | グリーンケミストリーを指向した新規触媒の開発と応用 |
| 3 年目 | 京都薬科大学 生薬学分野 | 中村 誠宏 | メディシナルフラワーを素材とした生体機能性成分の探索 |
| 3 年目 | 東京薬科大学 薬学部 | 矢内 光 | 強酸性炭素酸とその共役塩基に着目した新触媒の開発 |
| 3 年目 | 首都大学東京 都市教養学部 理工学系生命科学コース | 安藤 香奈絵 | 神経細胞内ミトコンドリアの局在制御とその破綻による神経変性のメカニズム |
| 3 年目 | 滋賀医科大学 薬理学 | 今村 武史 | 糖尿病病態因子による幹細胞障害の同定と治療法の試み |
| 2 年目 | 金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室 | 金田 勝幸 | ストレスによる薬物依存症再燃メカニズムの解明 |
| 2 年目 | 慶應義塾大学薬学部 | 大江 知之 | 肝障害を有する医薬品の代謝活性化機構の解明とそれを基盤にした低毒性医薬品の創製 |
| 2 年目 | 静岡県立大学食品栄養科学部 | 増田 修一 | ブドウ球菌毒素が誘導するスーパー抗原活性に対する植物由来成分および生薬による制御機構の網羅的解析 |
| 2 年目 | 香川大学医学部薬理学 | 西山 成 | 生活習慣病に対する新しい診断治療法の開発 |
| 2 年目 | 埼玉大学大学院理工学研究科 | 松岡 浩司 | 超高感度蛍光共鳴エネルギー移動による定量的バイオセンシングを可能とする新しい糖鎖高分子の創出 |
| 新規 | 名城大学薬学部 | 北垣 伸治 | シクロファン系の面不斉を利用した新規触媒の開発 |
| 新規 | 大阪大学大学院工学研究科 | 鳶巢 守 | 生理活性分子の直接変換を指向した不活性結合の触媒的変換法の開発 |
| 新規 | 帝京大学薬学部 | 高橋 秀依 | 軸不斉を活かした医薬品の分子設計-高活性化合物の創製 |
| 新規 | 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 | 岡 正啓 | 細胞核輸送ネットワークと高次生命機能 |
| 新規 | 近畿大学薬学部 | 田邊 元三 | サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型食後過血糖改善薬の合成と活性評価 |

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×4 件 = 計 1,000 万円)

| 助成 | 所 属 (申請時) | 研 究 者 名 | 研究テーマ |
|---------------|---|---------|--|
| 2 年目 第 1 位 | 京都大学大学院医学研究科 循環器内科学 | 牧山 武 | ラミン A/C 遺伝子関連心筋症におけるヒト iPS 細胞・ラットモデルを用いた病態解明・治療法開発 |
| 2 年目 第 2 位 | 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 こども急性疾患学部門 | 池田 真理子 | 福山型先天性筋ジストロフィーの中樞神経症状に対する細胞移植治療法の開発 |
| 新規 第 1 位 | 京都大学大学院 薬学研究科 薬品有機製造学分野 | 大野 浩章 | 低分子・中分子創薬を加速する革新的骨格構築法の開発と応用 |
| 新規 第 2 位 | 大阪大学大学院薬学研究科 天然物化学分野 | 古徳 直之 | 統合的戦略に基づく新規 PPI 阻害剤の創製 |

以上

第36回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日時：平成29年7月28日(金)13時00分から17時20分

場所：塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
(大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号)

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演題 (講演 25分、討論 15分)

座長

13:05-13:45 1. 不活性結合活性化を伴うトリフルオロメチル化反応の開発
柴田 哲男 先生
(名古屋工業大学大学院工学研究科) 北 泰行 先生

13:45-14:25 2. 動的活性制御を指向した環境応答型新規 N-アルキル芳香族アミドの創製
岡本 巖 先生
(昭和薬科大学 薬品化学研究室) 首藤 紘一 先生
代理 大和田 智彦先生

14:25-15:05 3. 「大学の企業化」による医薬研究開発に対する影響の分析
柴山 創太郎 先生
(Lund University School of Economics and Management) 桐野 豊 先生

15:05-15:20 休憩

15:20-16:00 4. 筋ジストロフィー、多発性硬化症などの神経疾患に関与する
O-マンノース型糖鎖修飾の合成化学的機能解明
比能 洋 先生
(北海道大学大学院 先端生命科学研究院) 西村 紳一郎先生

16:00-16:40 5. 加齢・生活習慣要因による視床下部機能の変調に関わる分子機序の解明
香月 博志 先生
(熊本大学大学院生命科学研究部 薬物活性学分野) 佐藤 公道 先生

16:40-17:20 6. 《特別研究助成》
蛋白質工学的的手法によるサイトカイン-レセプター相互作用の複雑性の
理解とその制御による革新的創薬
角田 慎一 先生
(神戸学院大学薬学部 生体機能制御学研究室) 塩野義製薬株
形山 和史

以上

前記のとおりご報告いたします。

平成30年6月

公益財団法人 篷 庵 社

理事長 武 田 禮 二

附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 6 月

公益財団法人 篷庵社